

# 日本手帖の会 活動報告



**「手帳 100 冊！ 書き比べ総選挙!!」レポート**

**(2012/11/17・18 東京都・江東区東大島文化センター)**

**(2012/12/8・9 横浜市・なか区民活動センター)**

**(付録：「人気投票☆ 来年の手帳30冊！」レポート 2012/12/15・16 東急ハンス銀座店)**

日本手帖の会

Twitter <https://twitter.com/NipponTecho/>

Facebook <http://www.facebook.com/TechoSocietyofJapan>

## 「世界に広げよう手帳好きの輪」－「手帳100冊！書き比べ総選挙!!」東京会場レポート

2012年11月17日(土)・18日(日) 東京都・江東区東大島文化センターにて

(木の葉燃朗)



私も参加している日本手帖の会で、11月17日(土)、18日(日)の両日、イベントを行いました。題して「手帳100冊！書き比べ総選挙!!」。日本手帖の会は、手帳、文房具の愛好家が集まり、ユーザーの視点から交流・情報交換を行う団体。そして、今回のイベントはこんな内容です。

- ・ 国内で発売されている手帳から100冊を選定し、展示
- ・ 参加者は展示されている手帳を自由に手に取り、試し書き・書き比べを行っていただく
- ・ 参加者はフォーマット・デザインや書き心地の点から気に入った手帳に投票。  
投票結果は後日ランキングとして発表

裏話をしてしまうと、今回のイベントは決定から開催まであまり時間がなかった。それでもスタッフみんなで必死に動いて、なんとか形にできたイベント。

もちろん手を抜いたわけでも、準備が不足したと思っていたわけでもない。やるからには、これまでお知り合いになった手帳仲間に遊びに来てもらって終わり、にはしたくないと思っていた(それでは普段の手帳オフと同じになってしまうからね)。それでも個人的には「もっと色々できたのではないか」という不安はあった。

そんな状況で迎えた二日間でしたが、結果は幸いなことに成功と言って良いと思う。少なくとも、失敗ではなかった。二日間で約100名に来場いただいたというのは、土曜日の天候や日本手帖の会の現時点の知名度を考えれば、健闘したと自負しています。

来場された方を大きく分けると、まずネットでの告知をご覧いただいた方。twitterやfacebookでは、我々自身の告知だけでなく、様々な方に取り上げていただいて、我々が想像しなかった方にも注目していただけた。

そして、たまたま寄っていただいた方も。これは区民向けの公共施設(東京都・江東区東大島文化センター)の一階ロビーという立地の良さが功を奏したと思う。上のフロアにある会議室やホールでの会合などが終わった方に興味を持っていただけたり、別の用事で来られた方がたまたまご覧になったり。

皆さんの多くに共通しているのは、まず長い時間をかけてじっくり見ていただいたということ。一時間くらいは普通で、二時間、三時間といらっしゃる方も。100冊の手帳の中から、気になるものをピックアップして見るだけでも、たしかに一時間くらいはかかると思う。もちろん、偶然通りかかって興味を持ってみる人はもっとささっと眺めたりもするのだけれど、はまる人はほとんどはまるようです。これは実際に開催してみて分かったこと。

それから、手帳や文房具についての話があちこちで盛り上がるイベントでもあった。お越しのみなさんも手帳好きだし、

主催する我々も手帳好き。ということで、あちこちで手帳談義に花が咲いていた。普段、手帳や文房具の話ができる相手がない、という方は結構いらっしゃるようで。そうした方は手帳や文房具のオフ会に参加するののひとつの方法ですが、やはり知っている方がいないとなかなか参加しにくいはずで(友人が参加しているとか、主催が著名人とか)。そういう意味で、オープンスペースで行われるイベントに来ていただいて、手帳の話で盛り上がり、というのは、手帳や文房具を語る機会としてちょうどいいようにも思う。



逆に、日本手帖の会という集団をアピールする機会にもなったのかと思う。私も折に触れてオフ会レポートを書いているとはいえ、得体の知れない団体と思われていてもおかしくない。でも今回のイベントを開催してお越しいただいたことで、純粋に手帳や文房具が好きだけの集団として認知してもらったのかなと思う。

そんな感じで収穫があった一方、反省点も。ひとつは、「手帳に書ける、書いていい」というアピールの仕方が難しかった。これが普段店頭ではできないことで、画期的であったのだが、それゆえに抵抗があったよう。これは我々が自ら書いてみたり、書いてあるページを広げたりといった工夫が必要だったと思う。

もうひとつは、もっと告知をすればもっと多くの人に来ていただけたかもしれないということ。時間が少なかったとはいえ、経験値があればそれをカバーできたのかなと思う。しかしこれらは、次への課題ということ。

ちなみに、東大島会場で支持を集めた手帳の速報も発表しています。ネットでの販売が主だが、見れば誰もが驚く仕組みのスライド手帳がランクインしたことや、同じ一日一ページタイプで文庫本サイズの手帳ながらEDITがほぼ日手帳よりも票を集めたこととか、なによりダイソーの100円の手帳(しかし、クオリティはしっかりしている)が最も票を集めたとか、色々と考えさせてくれるところの多い、興味深い結果だと思う。最終的には、他会場での結果もあわせて最終的な結果が決まります。横浜はどうなるか。

**【速報】東大島会場 開票結果！－「手帳100冊！書きくらべ総選挙!!」**

[http://www.facebook.com/note.php?note\\_id=462173943824653](http://www.facebook.com/note.php?note_id=462173943824653)

第1位

2013 Dairy (通称:ダイスキン手帳) (株)大創産業 <http://www.daiso-sangyo.co.jp/>

第2位

EDIT (株)マークス <http://marksdiary.jp/edit/>

ジブン手帳 コクヨS&T(株) [http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/feature/jibun\\_techo2013/](http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/feature/jibun_techo2013/)

スライド手帳(株)あたぼう <http://www.slide-techo.com/>

第5位

ツイン手帳(株)学研ステイフル <http://www.gakkensf.co.jp/lineup/sch/index3.html>

## 手帳の縁を繋ぐ場をつくる — 「手帳 100 冊！書き比べ総選挙!!」横浜会場レポート

2012年12月8日(土)、9日(日) 横浜市・なか区民活動センターにて

(木の葉燃朗)



私も参加している手帳の愛好家の集まり、日本手帖の会で、12月8日(土)、9日(日)に「手帳100冊！書き比べ総選挙!!」イベントを実施しました。会場は横浜市・なか区民活動センター。

国内で発売されている手帳を100冊(自腹で)購入し、展示して、参加者の方に投票をしていただくというイベント。参加者の方は、展示されている手帳を自由に手に取り、試し書きを行って頂くことができます。11月に東京でも同じイベントを実施して、今回は第二弾。



横浜会場では、東京会場とはまた異なる部分が色々あった。印象的だった点について、いくつかまとめておきます。

### ・ご来場いただいた方について

ご来場された方は、「今回のイベントを目的に会場に来られた方」が多かったという印象がある。前回の東京・東大島会場は、同じ建物内に会議室やホール、自習室などがあったことで、そうした場所に来られた方が偶然立ち寄られることが比較的見られた。

今回の横浜会場も、研修室やコミュニケーションスペースはあるのだけれど、東京会場に比べて建物の規模がコンパクトなこともあって、たまたま通りかかったという方は少なかった。その分、様々なメディアで今回のイベントを知っていただき、このイベントのために会場までお越し下さった方が多かった。今回イベントを告知した主なメディアとは、まずは日本手帖の会のtwitterやfacebook。そして、イベント情報をご自身のブログやtwitter、facebookで告知していただいた多くの方々。さらに、ヨコハマ経済新聞で取り上げていただき、そのニュースはYahoo! ニュースにも転載された。そして日本手帖の会の事務局が開催前日にFMヨコハマへ生出演するなど、告知は自分たちも思いも寄らないような広まりを見せた。

もちろん、日常的に会場を利用されている方にも、オープンスペースの一部を使用しての展示ということで立ち寄っていただき、楽しんでいただくことができた。やはり、会議室や研修室のようなドアや壁で区切られたスペースではなく、出入り自由なオープンスペースを会場にできたことは、前回の東大島会場に続き、プラスの効果があった。

来場された方の特徴は、やはりどなたもじっくりと集中してご覧になっているということ。これは東京会場と共通している。一時間、二時間と、展示している多くの手帳を手にとって、眺めて、滞在していただいた方が多かった。また、日本手帖の会のメンバーとの手帳や 文房具に関する会話も、やはり手帳が好きな者同士、盛り上がりました。



### ・イベント開催の意義

手帳や文房具好きが集まって語れる場を提供できたということが、イベントを開催した大きな意義だろうと、改めて思っている。もちろん、最近は手帳や文房具に関するイベントやオフ会が数多く開催されている。それぞれに特徴があるし、興味深いとは思ふ。ただ、例えば入場料を払って見に(聞きに)行くイベントでは、自分が思っていることを語ったり他の参加者の方と交流したりする機会はなかなか少ない。そのためにオフ会が開催されているのだと思うけれど、人によってはオフ会に参加することは勇気がいることだろう。私も人見知りな性格なので、手帳に限らずオフ会というのは、知り合いの方が参加している会くらいしか(性格的に)参加できない。また、初めての方にも参加いただける会有一些一方で、なんとなく顔なじみの方で集まってしまい、一見さんが参加しにくい会有一些もあるのも事実。

そうした状況の中で、オープンスペースで、無料で見ることができると手帳のイベントがあることは、意味があると考えている。その意味とは、まず手帳や文房具について自由に語れること。近くに同じ趣味の人がいないので、なかなかこういう話ができない、という来場者の方もいらっしゃる。また、だいたいの(手帖や文房具に関する)固有名詞・用語が説明なしで通じるのが嬉しい、という方も。

そしてもうひとつ、今回の出会いが縁となって、引き続き手帳オフなりまた別のイベントにお越し頂ければと思う。そうしたひとつの縁を作ることができたのも、今回のイベントを開催した成果だと思う。

### ・投票結果発表

東京、横浜両会場の投票結果を集計した順位は下記のとおり。

横浜会場 開票結果！－「手帳 100 冊！書き比べ総選挙!!」暫定順位発表

<http://on.fb.me/WrExNj>

第1位

EDIT (株)マークス <http://marksdiary.jp/edit/>

第2位

2013 Dairy (通称:ダイスキン手帳) (株)大創産業 <http://www.daiso-sangyo.co.jp/>

### 第3位

スライド手帳 株式会社あたぼう <http://www.slide-techo.com/>

### 第4位

キャンパスダイアリー コクヨ S&T(株) <https://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/feature/diary2013/>

### 第5位

ジブン手帳 コクヨS&T(株) [http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/feature/jibun\\_techo2013/](http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/feature/jibun_techo2013/)

ツイン手帳 株式会社学研ステイフル <http://www.gakkensf.co.jp/lineup/sch/index3.html>

ほぼ日手帳 東京糸井重里事務所 <http://www.1101.com/store/techo/>

### 第8位

y-Pad3 朝日新聞出版 <http://www.bunpei.com/index.php/10/22/notes/ypad3/>

### 第9位

ES ダイアリー 樫出版社 <http://www.ei-publishing.co.jp/product/es/es/diary/>

T'フリーダイアリー(余白手帳) 高橋書店 [http://www.takahashishoten.co.jp/notebook/note\\_tfree.html](http://www.takahashishoten.co.jp/notebook/note_tfree.html)

赤い手帳 日本ビジネスプラン/味の素 <http://www.akate.jp/seo-htc-desire.html>

定番から新鋭まで、幅が広い手帳がランクインしていて興味深い、というのが個人的な感想。東京・東大島会場での投票結果と比べると、順位の変動が分かる。

例えば、ダイソーの「2013 Dairy」は、東京会場ではそれほど手帳にこだわりのない方から「これで100円なら」という観点から票を集めた模様。一方横浜会場では、手帳好きの方の視点で、やはり文房具メーカーの手帳の質を評価したい、という投票結果だったのだろう。

また、1位のEDIT(一日一ページタイプの手帳)をはじめ、スライド手帳(ページをスライドさせて常に二週間を見ることができるシステム手帳リフィル)、ツイン手帳(月間と週間のスケジュールが分かれているリング式手帳)、y-Pad(自由な使い方ができる日付の入っていないタイプの手帳)など、見た目に特徴のある手帳がランクインしたのも印象的。必ずしも、ご自身が使っているとか、使ってみたいというだけではなく、面白さ、特徴のある手帳にも票が集まっていた。



(最後は記念に「横浜手帖ランドマークタワー」をつくって記念撮影してみました。)

## (付録)「日本手帖の会、銀座に進出」:「人気投票☆ 来年の手帳30冊！」レポート

2012年12月15日(土)、16日(日) 東急ハンズ銀座店にて

(木の葉燃朗)



私も参加している日本手帖の会で、下記のイベントを実施しました。日本手帖の会は、手帳の愛好家の集まり。定期的にオフ会を行って情報交換や交流をしたり、横浜市の市民団体に登録して、市民を主な対象とした講座を行ったりしている。

今回は、東急ハンズ銀座店とのコラボレーションイベント。

名称:「人気投票☆ 来年の手帳 30 冊！」

日時:12月15日(土)、16日(日) 両日とも11:00~19:00

会場:東急ハンズ銀座店 6階(カラフル・ステーションナリー) イベントスペース

<http://ginza.tokyu-hands.co.jp/>

まず思ったのは、まさか東急ハンズの店頭に立ってイベントが出来るとはなんと貴重な経験か、ということ。おそらく、開催の三ヶ月くらい前まで(いや、一ヶ月前でも)誰も想像していなかったと思う。しかし、様々な縁とタイミングの巡り合わせで、このようなイベントを行うことができた。関係するすべての方に「ありがとうございました」と申し上げたい。

今回のイベントは、東急ハンズ銀座店で販売している手帳から30冊を選び、展示をするというもの。手帳には自由に書き込みが可能で、気に入った手帳には投票ができる。このフォーマット自体(書き比べと投票)は日本手帖の会の主催イベント「手帳100冊!書き比べ総選挙!!」と同じなのだけれど、細かな部分で違いがあった。両方のイベントにスタッフとして参加した自分としては、その違いは興味深かった。

まずはイベントスペースにお越しいただいた方の特徴。今回は、東急ハンズに手帳を見に来た、買いに来たという方がたまたま立ち寄られる場合が多かった。そうした方にとっては、書き比べや人気投票よりも、まず自分が来年使う手帳を決めたいという考えがあるようだった。

そのため、目的の手帳を探している方からの「〇〇という手帳は置いてありますか?」というお問い合わせは多く受けた。他にも「カレンダーはどこにありますか?」、「□□という文房具は?」などなど、商品を探している方の問い合わせは多かった。それから、特定の手帳ではないけれど、来年の手帳を決めたい方からも、「一番売れている手帳は?」、「一番のおすすめは?」というお問い合わせを受けた。また、質問をしたり説明を受けたりしながら、自分にあった手帳を絞り込みたい方も。

ただ、いずれのタイプのお客様に対しても、それなりに対応できていたと思う。もちろん、在庫の有無や、商品の配置はハンズのスタッフの方々にも全面的に助けていただいたのだけれど。「こういう手帳が欲しい」と

いう要望に対しては、今回のイベントの効果があつたと考えている。手帳が好きな人間が、手帳売り場の近くで手帳のご案内をできたので。

一方で、手帳について話したいという方も多く、またこのイベントをお目当てに来店された方もいらっしゃり、それらの方はやはり滞在時間が長かった。これは、これまでの「手帳 100 冊！ 書き比べ総選挙!!」に来られていた方と同じ層の方だったと推測できる。その意味で、いわゆる手帳好きの方にはイベントの趣旨をアピールできたと思っている。

続いて、イベント全体に感じたことをいくつか。

まず、これまでにないタイプのイベントだったので、興味をお持ちいただいた方がいる一方、「書き比べ」というのは手帳や文房具が好きな方にもなかなか伝わりにくいという感じ。そもそも、手帳に試し書きできるというのは、画期的な一方で、前例が少ない故に抵抗があるのだろうと思う。これは「手帳 100 冊！ 書き比べ総選挙!!」でも感じたこと。

むしろ「人気投票」の方が伝わりやすかった印象。

それから、我々がどういう存在なのかが伝わりにくく、警戒されてしまった面があつたように感じる。メーカーさんだと勘違いされたことも何度かありました。手帳ユーザーの集まりで、純粹に（利害関係なく）手帳についてのイベントを開催していることが伝われば、より良かったのかなと思う。

しかし、改めて、様々な部分で勉強になり、個人としても日本手帖の会としても経験値の上がつた出来事だと思う。これを糧に、更なる精進をしたい。